

IV 都市づくりの地域別構想

地域別構想の役割

地域別構想は、全体構想に示された整備の方針等を受け、地域の特性に応じた都市づくりの基本的な方向を示すものです。

今後の都市づくりにおいては、市全体の都市づくりとの整合性を図りながら、地域の特性や魅力を活かした地域別の都市づくりを進めることにより、市全体として魅力的で個性ある都市づくりにつなげていくことが重要です。

本市は、地域ごとに異なる地形や歴史、産業特性、地域資源を持ち合わせており、これらを活かした個性あふれる地域が形成されています。また、各地区自治振興会や非営利活動法人などが地域に密着したまちづくり活動を行うなど、地域のコミュニティの発展に努めてきました。

今後も、市民自らが地域の特性や魅力を知り、積極的に地域に密着したまちづくり活動に参加することにより、地域への愛着を深め、地域の都市づくりに対する関心を高めていくことが重要です。

この都市づくりの地域別構想は、市民が都市づくりを身近な問題として捉え、市民と行政が地域における都市づくりの基本的な目標を共有しつつ、市民との協働による都市づくりにつなげていくことを目的として示したものです。

地域区分の設定

地域区分の設定は、地形等の自然的条件、土地利用の状況、幹線道路等の交通軸、日常生活上の交流の範囲、区域区分等を考慮し、各地域像を描き施策を位置づける上で適切なまとまりのある空間の範囲とします。

このため、本市の地域別構想における地域区分は、鳴門市内における7町（撫養、里浦、鳴門、瀬戸、大津、北灘、大麻町）を基本として、撫養川を境に撫養町を川東と川西に分け、大麻町を堀江と板東に分けた、9つの地域とします。



地域別構想の基本的考え方

地域別構想で設定した各地域は、道路網が発達した現在でも、そこに暮らす人にとって最も身近な生活圏であり、学校や自治会活動を通じた地域コミュニティが存在しています。しかし、少子高齢や人口減少の進展に伴い、特に郊外では、これまでのような地域生活の維持が困難となることも想定されます。

このため、各地域を地域生活圏として位置づけ、地域内での生活利便性の確保とコミュニティの維持を目指します。また、地域内で不足する機能については、中心市街地や隣接する地域、さらに隣接市町との連携によりこれを補うこととし、必要な道路網や公共交通の維持を推進します。

また、各地域は、地域ごとに個性ある地域資源を持ち合わせており、市民自らが行う地域の実情に応じた活性化を推進します。

各地域が積極的に地域の活性化に取り組むことによって、住まう場所として、魅力ある観光地として、品質の高い農水産物の生産地として、それぞれの地域の価値を高めながら、隣接する地域と連携することにより、お互いの価値を高める地域間連携を推進します。

地域間連携イメージ図

